

令和7年
2025年

5月1日
木曜日

第11703号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込み）
6か月 42,120円
（税込み）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-1-2
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



江藤農相がインドネシアの食品市場の現状や課題について意見交換……P5

注目のヘッドライン

食肉加工メーカートップインタビュー
プリマハム新川裕二専務執行役員営業本
部長 総菜や冷食を強化、“ニアカテゴリ
ー” 注力

…詳細はP2

単味品なおも苦戦、プレス類は増加ー3
月分の食肉加工品生産量

…詳細はP3

▶ 食肉加工メーカートップインタビュー プリマハム新川裕二専務執行役員営業本部長 総菜や冷食を強化、“ニアカテゴリー” 注力 …… P 2

▶ 単味品なおも苦戦、プレス類は増加ー3月分の食肉加工品生産量 …… P 3

▶ 【4月の相場見通し】鶏肉、輸入内臓肉、素牛 …… P 4

▶ インドネシアへの日本産牛肉の安定的輸出に向け、牛肉の輸入割当制度の見直し要請ー江藤農相 …… P 5

▶ [食肉流通統計・3月]と畜頭数は豚1・3%減、成牛は1・1%減 …… P 5

▶ 3月の豚肉輸出は、前年同月比4・2%増で輸出額も増 …… P 6

▶ [鶏肉調製品輸入3月]計4万3537tで13・6%増 …… P 6

▶ [都内輸入食肉在庫・3月]牛肉在庫量は前年同月比5・8%増 …… P 7

▶ 大阪・関西万博、香川県ブースでオリーブ牛・豚・地鶏の試食会開催 …… P 7

▶ ウエルシア、大人気冷凍食品シリーズ第5弾発売 …… P 7

▶ [資料]食肉加工品生産数量調査報告書(2025年3月分) …… P 8

▶ [資料]2025年3月分の食肉輸入通関実績① …… P 9

▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]30日 …… P10

▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]30日 …… P11

新刊 銘柄牛肉ガイドブック'25

多岐にわたる情報を網羅

生産 と畜 流通

380
ブランド
以上

定価 B5判/258頁
2,500円

食肉通信社



食肉加工メーカートップインタビュー プリマハム 新川裕二専務執行役員営業本部長 総菜や冷食を強化、“ニアカテゴリー”注力

——2024年度の概況を教えてください。

非常に厳しい事業環境が続いており、この数年間はお客様のご理解を得ながら価格改定を進めてきました。おかげさまで値上げを行ってもお客様に支持していただき、食肉加工品販売量は伸長。さまざまなキャンペーン展開など、お客様から選んでいただけるような販売施策が奏功し、厳しい環境下でも対応できています。

一方、外部環境が厳しい中、コスト増加分を全て価格に転嫁することは難しく、企業努力によるさらなるコストダウンが求められています。また、物価上昇の影響でコンビニエンス・ストア向けの業務用商品の販売も苦戦しています。

ただ、業界全体が厳しい中、24年度のハム・ソーセージコンシューマー商品の店頭シェアはトップとなりました。さらに企業や業界の垣根を超えて物流の効率化に連携して取り組んでいます。法令順守することで、最終的にコストダウンにもつながります。

——25年度の取り組みについては。

4月1日から価格改定を行い、お客様へ丁寧な説明をしながら進めています。コンシューマーシェアトップになったことで、ブランド認知度は着実に上昇している一方、カバーできていない領域もあります。

今年度は、業務用の多くを占めるCVS向けのベンダー事業に加え、外食向けの拡販を目指すため新たな部を創設するなど、社内体制も強化。さらに、半調理品も含めたデリカや総菜売り場にはまだまだ拡大の余地があります。加えて近年急成長している冷凍食品など、これらのカテゴリーについて、競合他社に比べて遅れを取っているのも事実です。

これに対しては、プリマハムだからできる畜肉メーカーらしいメニューを前面に出した商品の提案が重要だと考えます。これまであまりできていなかったけれど、手を伸ばせば届く“ニアカテゴリー”へ向けた取り組みを進めます。

外食については、大手チェーンなどとの取り組みに加え、問屋との連携を強化。例えばラーメン店など小

規模な飲食店からの需要もしっかりと拾い上げていきます。

——現在の消費者志向をどう分析されますか。

消費者の節約志向、買い控えが進む中、お金を出

してでも買いたいと思う商品を提案しなければなりません。具体的には、例えば「健康」というキーワードが挙げられます。減塩や糖質オフといった切り口に加え、今後は「食べることで摂取できる」といった、プラス要素を持つ機能性食品の開発も重要です。

コロナ下に定着し、現在も需要が堅調な「家飲み」に向けて、手軽に食べられるつまみ商品をさらに充実させます。

さらにチルドだけでなく、常温や冷凍など、さまざまな温度帯の商品のラインアップを強化します。当社では直営ECサイトで、こだわりのハム・ソーセージを冷凍で販売。冷凍にすることで保存もしやすく、長期保存が可能です。添加物などを減らすことができるメリットもあります。

——加工品の海外展開については。

各国の添加物基準などに対応するための準備は当然進めています。ハム・ソーセージなどを輸出する場合、賞味期限も考慮する必要があります。例えば、船便は輸送期間が長くなるため、チルド商品では現地に到着した時点で賞味期限までの期間が短くなってしまいう課題があります。

また、タイには子会社のハム・ソーセージの製造拠点があり、今後はどのように活用するかも重要です。日本より、タイからアジア向けに広く輸出した方が拡大する可能性があります。さらにタイの鶏肉の加工・販売を行う現地企業との連携を強化。将来的にはハラル商品をシンガポールの国内で販売することなども考えられます。



単味品なおも苦戦、プレス類は増加ー3月分の食肉加工品生産量

日本ハム・ソーセージ工業協同組合はこのほど、2025年3月の食肉加工品生産量を発表した。それによると、全体の生産量は3万9829t(前年同月比7・2%減)と4万tにわずかに届かず、引き続き前年を割り込んだ。単味品はハム類が6911t(10・8%減)、ベーコン類が7056t(13・0%減)と、前月に続き2桁の減少。プレス類は1691t(2・4%増)と増加に転じた。生産量の多いソーセージ類は2万4172t(4・9%減)と単味品と比較すれば落ち幅は小さいが、こちらも減少を続けている。

ハム類はロースハムが4871t(11・6%減)、その他

ハムが808t(15・5%減)と主力商品が2桁減。ラックスハムは721t(1・2%減)、ボンレスハムは412t(5・3%減)と軒並み前年を割り込んだ。ベーコン類はメインのバラベーコンが6508t(13・9%減)と2桁減。価格帯の安さが支持され、前月は伸長していたショルダーベーコンも364t(6・0%減)と一転して前年割れの結果となった。ソーセージ類は、大部分を占めるウイナーが1万8604t(3・3%減)と減少ながらも一定の生産量を維持、フランクフルトソーセージは2569t(5・3%減)とこちらも減少した。その他の主力

商品はボロニアソーセージが1025t(13・7%減)、ドライソーセージが470t(15・4%減)、リオナソーセージが335t(20・4%減)、その他ソーセージが367t(26・6%減)と2桁減となった。

プレス類は引き続きプレスハムが291t(56・9%減)と前月に続き大きく減少しているものの、チョップドハムが1400t(43・2%増)と大きく伸びたことで、全体として前年を上回った。このほか、オールポークソーセージは1万4472t(0・1%増)と微増ながら増加に転じている。

[2025年3月の加工品生産量]

(単位：トン、%)

銘柄	生産数量	対前年同月比	2025年累計	対前年同期比
ロースハム	4,870.9	88.4	13,228.9	88.7
ボンレスハム	411.6	94.7	1,211.9	97.5
ラックスハム	721.2	98.8	1,943.4	94.1
その他ハム	808.0	84.5	2,092.0	77.2
ハム類計	6,910.5	89.2	18,794.8	88.4
チョップドハム	1,400.0	143.2	3,633.5	146.3
プレス類計	1,690.7	102.4	4,413.0	97.7
ベーコン	6,508.1	86.1	18,043.2	89.0
ショルダーベーコン	363.5	94.0	1,049.4	96.8
ベーコン類計	7,055.6	87.0	19,613.6	89.8
ウイナーソーセージ	18,604.4	96.7	53,014.5	97.0
フランクフルトソーセージ	2,569.2	94.7	6,787.3	92.9
リオナソーセージ	335.3	79.6	1,027.4	87.3
ボロニアソーセージ	1,024.5	86.3	3,116.4	94.8
無塩漬ソーセージ	773.2	101.7	2,252.3	95.2
その他ソーセージ	366.9	73.4	1,055.1	99.0
ソーセージ類計	24,171.8	95.1	68,683.2	96.2
ポークソーセージ	14,471.6	100.1	40,889.5	99.8
総合計	39,828.6	92.8	111,504.6	93.7
ハンバーグ類	1,782.3	93.6	5,068.8	94.0
やき豚	1,589.8	110.9	4,412.8	107.4
その他	3,544.6	92.7	10,299.5	98.3

【4月の相場見通し】鶏肉、輸入内臓肉、素牛**【鶏肉正肉】生鮮モモ初旬に上げ、冷凍モモ軟調、ムネ高値**

【国産】ゴールデンウィーク(GW)中、工場の稼働が少ないこと、また、家庭での揚げ物などの調理機会が増えることから、生鮮モモは5月初旬に値を上げる。日経加重平均でモモ820円前後となり、中旬以降は暑さからやや需要が鈍ることで弱もちあいの展開になることが予想される。

また、生鮮ムネは涼味商材としての本格的な需要期に入ることから5月を通して堅調な値動きとなり、下旬に460円台後半まで値を上げるとみられる。

冷凍モモは月初の670円前後から、中旬以降はやや軟調で推移。冷凍ムネは中食・加工向けの需要が高いことから410円前後の高値でのもちあいとなる。

【輸入鶏肉】輸入は大幅減、相場は弱気に

【輸入】輸入鶏肉はブラジル、タイ、米国とも国内需要が堅調なことから、3～5月の日本向け輸出量は前年を大幅に下回る。

GW以降は需要の弱まる夏場に向かうが、為替が円高に振れていること、輸入量の少なさから急激な下げはなく、ややジリ安での展開となろう。ブラジル産モモ正肉でキロ450円前後、カット物が470円前後で推移するか。タイ産、米国産も為替の激変などがなければ、おおむねやや弱もちあいで展開が予測される。

【輸入牛内臓】焼き材は高値で推移、タン、アウトの需要高い

【輸入牛内臓】GWに向けた手当てもあり、4月上旬からは引き合いも上向き、焼き材中心に相場、荷動き共にやや良化した。米国産の品薄傾向は続くが、為替レートは一時期140円を割り、現在は140円台前半で推移。年初に比べると大幅に円高シフトしていることで大幅な値上がりは抑えられており、高値圏でのもちあい基調が続く。

GW向けのハレの日商材として牛タン、アウトサイドスカートなどの高単価商材も引き合いは高まった。平常日に戻って実需が落ち着いても需給は大きく緩むことはなく、主要焼き材については引き続き高値圏での推移が続くとみられる。白物についても相対的な値頃感から、タレ漬けアイテムなどの焼き材提案は増加しており、引き合いは堅調でしっかり。円高傾向で

使いやすくもあり、夏場にかけて、強もちあいで推移するとみる。

【素畜】和牛は引き続き堅調、需給締まり乳牛は上げ

【和子牛】4月21日公表の市場成績(全農、速報)は全国平均(税込み、雌・去勢を含む)が3月終値から3万9千円高の約67万8千円(下旬を除く)と続伸した。全国的な上場頭数の少なさや母牛淘汰に伴う和牛の減産傾向に加え、月初は年末出荷を見据えた旺盛な手当てが重なり堅調な値動きだった。

性別では雌が3万9千円高の60万4千円、去勢は3万8千円高の73万6千円。騰落状況は前日までに取引を終えた41市場のうち8割が3月水準から上げた。大産地では県外購買者の多い北海道がいずれも3月比2桁増の伸び。十勝は新施設での競りが開始され、ご祝儀相場も下支えした。5月も和子牛の不足感はあるものの、年末出荷分の導入意欲は周期的に衰えるため需給のタイト感はやや緩和される見通し。気配は強もちあい。全国平均は去勢で73万～75万円水準とみる。

【乳子牛】4月は外食需要の高まりとインバウンド需要が回復しているものの、消費者の節約志向が一層強くなったことから、乳牛去勢枝肉相場はもちあいとなった。素牛集荷については、北海道では弱含みの展開であったものの、全国価格ではもちあいで推移した。

北海道主要7市場における初生ホル雄の取引概況は、1開催当たりの上場頭数が減少するなど、出生頭数の減少が見通される情勢の中、引き合いが強まったことで上げの展開となった。

5月は安定したインバウンド需要やイベントなどによる需要で一定量の回復基調が見込めることから、相場は4月価格をベースに上げの展開が想定される。集荷については、素牛の上場頭数が減少していることから上げる予想。

北海道における初生ホル雄の取引価格については、乳雄資源を確保する動きが見込まれるため、強含みで推移すると思われる。交雑種においては雌39万円前後、去勢42万円前後の展開が予想される。

インドネシアへの日本産牛肉の安定的輸出に向け 牛肉の輸入割当制度の見直し要請—江藤農相

江藤拓農林水産大臣は、4月27日から30日までインドネシアを訪問し、アムラン農業大臣およびアリエフ国家食料庁長官ならびにASEAN事務局のカオ・キムホン事務総長と会談を行ったほか、インドネシアに進出する食品企業との意見交換などを行った。会談では、日本産農林水産物・食品のインドネシアへの輸出拡大に向けて、牛肉の輸入割当制度について、日本産牛肉を安定的に輸出できるように見直しを要請したほか、「日ASEANみどり協力プラン」に基づく協力を充実させるため、2回目となる日ASEAN農林大臣会合を今年の秋に開催し、プランを改定する方針を確認した。

また、インドネシアに海外展開して食品製造業など



を行う日系事業者について工場等の視察を行うとともに、インドネシアの食品市場の現状や課題について意見交換を行った。

【食肉流通統計・3月】と畜頭数は豚1・3%減、成牛は1・1%減

農水省統計部が発表した3月の食肉流通統計によると、全国の豚と畜頭数は135万2997頭(前年同月比1・3%減)と前年を下回った。枝肉生産量は10万

8646t(1・7%減)となった。豚卸売価格(省令)は609円(9・9%高)で、東京は615円(11・4%高)、大阪は612円(4・6%高)だった。

一方、成牛と畜頭数は8万8670頭(1・1%減)と減少し、このうち和牛は計4万3919頭(5・3%増)、乳牛は計2万3836頭(8・9%減)、交雑牛は計2万833頭(0・7%減)となった。成牛の枝肉生産量は4万398t(1・3%減)と前年を下回った。

全国と畜頭数、枝肉生産量

区分		と畜頭数(頭)		枝肉生産量(t)	
		前年比%		前年比%	
豚		1,352,997	98.7	108,646	98.3
成牛計		88,670	98.9	40,398	98.7
和牛	和牛計	43,919	105.3	20,751	105.1
	雌	21,534	109.0	9,176	109.2
	去勢	22,344	102.0	11,561	102.1
	雄	41	107.9	14	96.0
乳牛	*乳牛計	23,836	91.1	8,773	89.5
	雌	14,572	95.3	4,685	96.2
	去勢	9,231	85.9	4,073	83.0
	雄	33	26.2	15	48.5
交雑牛	交雑牛計	20,833	99.3	10,847	98.3
	雌	9,789	100.0	4,790	99.1
	去勢	11,036	98.6	6,053	97.6
	雄	8	266.7	4.4	628.6
その他の牛計		82	10.6	27	7.4
その他の牛雌		40	47.1	15	32.8
その他の牛去勢		35	5.1	9	2.8
その他の牛雄		7	175.0	3	176.5
子牛		421	87.7	38	83.2
馬		717	99.9	312	94.7

*22年1月分調査より「乳牛」は乳用種の牛、「交雑牛」は乳牛と和牛、乳牛と外国種の交雑種として分離した。

枝肉の卸売価格

単位:1キロ当たり円、%

区分	東京市場		大阪市場		
	価格	前年同月比	価格	前年同月比	
和牛去勢	A5	2,530	100.0	2,556	100.2
	A4	2,265	103.9	2,253	104.7
	A3	2,111	105.4	1,955	101.1
	A2	1,851	117.2	1,594	-
交雑種去勢	B3	1,502	97.2	1,551	97.0
	B2	1,394	97.1	1,359	-
乳牛去勢	B3	-	-	1,264	-
	B2	1,131	129.0	812	72.8

豚の枝肉取引頭数及び卸売価格(極上・上規格)

	頭数	前年同月比	価格	前年同月比
主要卸市場計	78,225	99.2	609	109.9
うち東京	6,633	109.6	615	111.4
大阪	344	68.7	612	104.6

3月の豚肉輸出は、前年同月比4・2%増で輸出額も増

財務省貿易統計による3月の国産豚肉輸出量は143t(前年同月比4・2%増)と増加した。前月比でも3・9%増加した。輸出先国は合計4カ国・地域で、国別にみると香港が最も多く、合計105t(11・1%増)。次いでシンガポール、マカオ、タイとなった。輸出額は合計1億9627万円(8・6%増)となっ

た。キロ当たり輸出単価は1373円。

一方、鶏肉・鶏くず肉などは、合計227t(59・7%減)。輸出先ではベトナムが最も多く122t、次いで香港が79tで、香港への輸出分のうちモモ肉、ムネ肉は29t(31・2%減)となった。キロ当たり輸出単価は283円。

豚肉輸出の表

単位：キロ

	香港		ベトナム	シンガポール	マカオ	タイ	その他国	合計
	冷蔵	冷凍	冷凍	冷凍	冷凍	冷凍		
2024年6月	1,328	73,301		30,669		2,061	104	107,463
7月	1,181	63,653		31,372	2,021	2,337		100,564
8月	985	65,468	155	19,695	4,620	4,568		95,491
9月	2,455	60,136		12,138	5,295	872	1,829	82,725
10月	919	95,797	134	24,291	670			121,811
11月	762	92,224	138	13,372		201	113	106,810
12月	3,452	121,446		39,170	2,816	401	214	167,499
2025年1月	824	72,063		10,656	462	307		84,312
2月	2,257	92,099		35,337	2,802	5,050		137,545
3月	1,169	103,660		30,596	6,923	612		142,960
前年同月比	124.2%	147.7%	-	47.9%	-	30.3%	0.0%	104.2%
2024年計	17,974	871,194	427	351,461	37,311	21,471	3,115	1,300,698
前年同期比	101.0%	141.9%	-	65.5%	176.6%	131.8%	0.0%	114.5%

[鶏肉調製品輸入3月] 計4万3537 tで13・6%増

3月の鶏肉調製品の輸入通関実績は、計4万3537t(前年同月比13・6%増)と前年を上回った。前月からも9749t増加した。国別ではタイが2万

5989t(6・2%増)と増加。中国も1万6674t(26・1%増)と増加した。そのほかブラジルが99t(約5倍増)、韓国が32t(55・4%減)となった。

鶏肉調製品輸入の推移

単位：トン、()内は前年比%

	中国	タイ	ブラジル	韓国	米国	フィリピン	合計
2022年計	192,373 (109.3)	326,751 (109.3)	1,925 (110.6)	1,028 (93.3)	117 (55.8)	33 (71.4)	525,762 (109.4)
2023年計	173,673 (90.3)	297,810 (91.1)	558 (29.0)	1,201 (116.8)	100 (85.5)	0 (-)	477,983 (90.9)
2024年計	187,156 (107.8)	307,850 (103.4)	490 (87.8)	1,081 (90.0)	57 (57.2)	- (-)	503,188 (105.3)
2024年3月	13,221 (88.9)	24,460 (96.5)	19 (100.0)	57 (118.7)	14 (-)	- (-)	38,329 (94.5)
4月	16,788 (114.1)	27,086 (109.6)	38 (100.0)	150 (385.2)	0 (-)	- (-)	44,648 (111.9)
5月	14,034 (113.5)	26,117 (115.2)	38 (99.6)	65 (206.2)	- (-)	- (-)	40,776 (115.0)
6月	15,546 (100.1)	26,467 (111.2)	19 (100.0)	23 (52.2)	14 (-)	- (-)	42,605 (107.2)
7月	19,023 (127.4)	27,823 (116.0)	94 (123.7)	33 (116.4)	- (-)	- (-)	47,452 (120.2)
8月	14,464 (99.9)	24,641 (96.7)	38 (100.0)	60 (165.2)	- (-)	- (-)	39,797 (98.6)
9月	16,795 (112.3)	22,519 (88.9)	56 (892.6)	65 (82.7)	14 (-)	- (-)	39,880 (97.7)
10月	17,078 (114.2)	29,949 (118.2)	76 (-)	135 (170.6)	- (-)	- (-)	47,902 (117.4)
11月	18,464 (117.7)	27,000 (96.5)	- (-)	119 (57.3)	14 (-)	- (-)	46,192 (104.1)
12月	17,440 (105.6)	27,278 (101.2)	19 (13.6)	209 (205.5)	- (-)	- (-)	45,580 (102.9)
2025年1月	13,978 (84.6)	23,775 (88.2)	38 (27.3)	109 (107.2)	- (-)	- (-)	38,628 (87.2)
2月	10,522 (79.5)	22,713 (104.6)	19 (24.7)	27 (29.1)	- (-)	- (-)	33,788 (94.7)
3月	16,674 (126.1)	25,989 (106.2)	99 (521.2)	32 (44.6)	14 (100.0)	- (-)	43,537 (113.6)

【都内輸入食肉在庫・3月】牛肉在庫量は前年同月比5・8%増

東京冷蔵倉庫協会が公表した3月の都内食肉在庫によると、牛肉は入庫が1万6833t、出庫が1万5078t、在庫が5万3673tとなった。前年同月比では5・8%増となり、前月を上回った。

豚肉は入庫が3万6966t、出庫が3万7890tで在庫が9万9231tとなった。前年同月比では17・4%増となり、前月は下回った。

一方、鶏肉は入庫が1万2547t、出庫が1万8063t、在庫が4万8832tとなった。前年同月比では1・9%減となり、前月は下回った。

シーズンドポークなどを含むその他畜産・畜産加工品は、入庫が5243t、出庫が5710tで在庫が1万2669tとなった。前年同月比では11・2%減となり、前月を下回った。

東京都の輸入食肉月末在庫(保税在庫)

単位:トン、%

	牛肉	豚肉	鶏肉	羊肉	馬肉	その他畜産物
令和6年3月	50,714	84,536	49,765	1,387	936	14,260
4月	50,762	86,352	46,417	1,470	803	12,945
5月	52,249	97,438	50,814	1,788	977	13,315
6月	54,379	101,558	51,249	2,142	988	13,710
7月	58,608	103,508	47,983	2,006	902	14,175
8月	59,263	106,481	58,702	1,851	922	14,138
9月	59,533	107,471	53,718	1,739	975	15,607
10月	56,840	108,695	56,280	1,395	895	16,576
11月	53,982	103,585	55,792	1,210	1,010	14,917
12月	51,457	97,434	53,222	1,013	1,050	13,472
令和7年1月	52,496	99,162	55,020	1,075	1,118	13,690
2月	51,918	100,155	54,348	1,087	1,202	13,136
令和7年3月入庫	16,833	36,966	12,547	880	278	5,243
出庫	15,078	37,890	18,063	750	347	5,710
在庫	53,673	99,231	48,832	1,217	1,133	12,669
前年同月比	105.8%	117.4%	98.1%	87.7%	121.0%	88.8%

※前年同月比は、毎月毎月、比べる月について変更する必要

大阪・関西万博、香川県ブースでオリーブ牛・豚・地鶏の試食会開催

大阪・関西万博のExpoメッセで4月30日、香川県のブースが出展。同県のオリーブ畜産品であるオリーブ牛、オリーブ豚、オリーブ地鶏の試食会が開催され、多くの人が列を作り、高品質の香川県の畜産ブランドを味わった。

11時45分からオリーブ牛、オリーブ豚、18時30分からオリーブ牛、オリーブ地鶏の試食会がそれぞれ行われ、5月3日までの4日間開催される。今回の試

食会で用意されるオリーブ牛は、ロースとモモでそれぞれ200食ずつの提供となる。



ウエルシア、大人気冷凍食品シリーズ第5弾発売

ウエルシア薬局(株)(東京都千代田区、田中純一社長)は、プライベートブランド「からだWelcia」から、「もーたまらない!生クリームとデミグラス仕立ての濃厚ボロネーゼ」「ソースにおぼれる!2種のチーズと生クリームの贅沢カルボナーラ」(共に税込み321円)を1日から全国の同店で発売した。

麺には、軟らかくもっちりとした食感を再現するため、北海道産ゆめちからを配合した国産小麦を使用。ソースとの絡みを最大限に引き出す幅広いフィットチーネ麺を採用。さらに、ソースや具材のボリューム感にもこだわり、家庭でも満足感のある本格的な一皿を楽しめる。

[資料] 食肉加工品生産数量調査報告書 (2025年3月分)

(単位：トン,%)

銘柄	生産数量	対前年同月比	2024年累計	対前年同期比	
ハム類	ロースハム	4,870.9	88.4	13,228.9	88.7
	ボンレスハム	411.6	94.7	1,211.9	97.5
	骨付きハム	5.5	87.3	14.4	86.2
	ラックスハム	721.2	98.8	1,943.4	94.1
	ベリーハム	2.4	100.0	6.9	109.5
	ショルダーハム	90.9	88.8	297.3	97.3
	その他ハム	808.0	84.5	2,092.0	77.2
	小 計	6,910.5	89.2	18,794.8	88.4
ベーコン類	ベーコン	6,508.1	86.1	18,043.2	89.0
	ロースベーコン	0.2	28.6	1.0	37.0
	ショルダーベーコン	363.5	94.0	1,049.4	96.8
	その他ベーコン	183.8	112.8	520.0	106.5
	小 計	7,055.6	87.0	19,613.6	89.8
ソーセージ類	ウインナーソーセージ	18,604.4	96.7	53,014.5	97.0
	フランクフルトソーセージ	2,569.2	94.7	6,787.3	92.9
	リオナソーセージ	335.3	79.6	1,027.4	87.3
	ポロニアソーセージ	1,024.5	86.3	3,116.4	94.8
	ドライソーセージ	469.9	84.6	1,351.4	92.0
	セミドライソーセージ	23.2	112.1	60.0	104.7
	レバーソーセージ	1.7	113.3	7.7	85.6
	レバーペースト	0.7	63.6	2.4	82.8
	加圧加熱ソーセージ	1.7	77.3	5.6	51.4
	無塩漬ソーセージ	773.2	101.7	2,252.3	95.2
	混合ソーセージ	0.5	100.0	1.4	93.3
	加圧加熱混合ソーセージ	0.6	100.0	1.7	89.5
	その他ソーセージ	366.9	73.4	1,055.1	99.0
	小 計	24,171.8	95.1	68,683.2	96.2
プレスハム類	プレスハム	290.7	43.1	779.5	38.3
	混合プレスハム	0.0	0.0	0.0	0.0
	チョップドハム	1,400.0	143.2	3,633.5	146.3
	小 計	1,690.7	102.4	4,413.0	97.7
合 計	39,828.6	92.8	111,504.6	93.7	
ポークソーセージ	14,471.6	100.1	40,889.5	99.8	
サラミソーセージ	79.4	94.1	215.5	100.1	
ハンバーグ類	1,782.3	93.6	5,068.8	94.0	
焼き豚	1,589.8	110.9	4,412.8	107.4	
その他	3,544.6	92.7	10,299.5	98.3	

- 注) 1. 生産数量は食肉加工工場より報告された数量である。
 2. ポークソーセージはウインナー、フランク、ポロニアの内数である。
 3. サラミソーセージはドライ、セミドライの内数である。

資料：日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べ「食肉加工品等流通調査」
 (公益社団法人日本食肉協議会委託事業)

[資料] 2025年3月分の食肉輸入通関実績⑪

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月 CURRENT MONTH		累 計 CUMULATIVE YEAR TO DATE	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

の) (その他のもの)

R KOREA	103 KG	34272	25872	70176	52848
CHINA	105 KG	38922	36485	120562	91355
TAIWAN	106 KG	-	-	1440	2007
THAILND	111 KG	45975	57760	126149	146317
DENMARK	204 KG	12800	11610	12800	11610
USA	304 KG	391425	226132	929848	544198
TOTAL	990 KG	523394	357859	1260975	848335
(E. U)	991 KG	12800	11610	12800	11610

1602. 42-019 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、

くず肉及び血(豚の肩肉及びこれを分割したも

の)(ハム及びベーコン(滅菌したものを除く。)、プレスハム(豚の肉又はくず肉及びつなぎから成るものに限る。))並びにその他の調製をし又は保存に適する処理をした物品で豚の肉又はくず肉(1個の重量が10g以上のものに限る。)のみから成るもの(課税価格が1kgにつき、豚肉加工品に係る分岐点価格を超えるもの)

CHINA	105 KG	-	-	18480	20209
THAILND	111 KG	5472	7191	13657	19069
SPAIN	218 KG	-	-	2818	6075
AUSTRAL	601 KG	-	-	3803	5876
TOTAL	990 KG	5472	7191	38758	51229
(E. U)	991 KG	-	-	2818	6075

1602. 42-090 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、

くず肉及び血(豚の肩肉及びこれを分割したも

の) (その他のもの)

R KOREA	103 KG	-	-	14851	7862
CHINA	105 KG	18241	11344	80914	53962
THAILND	111 KG	2090	6884	11832	31841
SINGAPOR	112 KG	-	-	4320	26158
DENMARK	204 KG	17242	12836	34598	24917
IRELAND	206 KG	239304	135895	1245912	741547
SPAIN	218 KG	-	-	109620	64243
CANADA	302 KG	1000740	547072	2246480	1246253
USA	304 KG	4507137	2561666	14019372	8127874
MEXICO	305 KG	1034320	561822	2618960	1452884
CHILE	409 KG	888060	461019	2831640	1493139
TOTAL	990 KG	7707134	4298538	23218499	13270680
(E. U)	991 KG	256546	148731	1390130	830707

1602. 49-100 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、

くず肉及び血(豚のもの)(肩肉、もも肉を除く。)(混合物を含む。)(腸、ぼうこう又は胃の全形のもの及び断片(単に水煮したもの))

SPAIN	218 KG	24000	10228	24000	10228
MEXICO	305 KG	-	-	33555	8363
BRAZIL	410 KG	10956	5257	74928	37439
TOTAL	990 KG	34956	15485	132483	56030
(E. U)	991 KG	24000	10228	24000	10228

1602. 49-210 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、

くず肉及び血(豚のもの)(肩肉及びもも肉を除く。)(ハム及びベーコン(滅菌したものを除く。))、

プレスハム(豚の肉又はくず肉及びつなぎから成るものに限る。))並びにその他の調製をし又は保存に適する処理をした物品で豚の肉又はくず肉(1個の重量が10g以上のものに限る。)のみから成るもの

の)(課税価格が1kgにつき豚肉加工品に係る分岐点価格以下のもの)

SPAIN	218 KG	42760	36843	42760	36843
TOTAL	990 KG	42760	36843	42760	36843
(E. U)	991 KG	42760	36843	42760	36843

1602. 49-220 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、

(単位: 1,000円、UNIT: ¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月 CURRENT MONTH		累 計 CUMULATIVE YEAR TO DATE	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

くず肉及び血(豚のもの)(肩肉及びもも肉を除

く。)(ハム及びベーコン(滅菌したものを除く。))、プレスハム(豚の肉又はくず肉及びつなぎから成るものに限る。))並びにその他の調製をし又は保存に適する処理をした物品で豚の肉又はくず肉(1個の重量が10g以上のものに限る。)のみから成るもの(課税価格が1kgにつき豚肉加工品に係る分岐点価格を超えるもの)

CHINA	105 KG	24500	38212	90599	137813
TAIWAN	106 KG	3000	4359	20448	32323
THAILND	111 KG	15979	23180	53637	78522
NETHLD	207 KG	10890	15178	10890	15178
FRANCE	210 KG	3293	6451	10834	22015
PORTUGL	217 KG	-	-	32	346
SPAIN	218 KG	22283	29744	23231	31402
ITALY	220 KG	549	686	3326	4307
AUSTRIA	225 KG	347	902	3191	6984
CANADA	302 KG	-	-	8232	8705
USA	304 KG	54329	134415	123151	319133
TOTAL	990 KG	135170	253127	347571	656728
(E. U)	991 KG	37362	52961	51504	80232

1602. 49-290 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、

くず肉及び血(豚のもの)(肩肉、もも肉を除く。)(その他のもの)

R KOREA	103 KG	8486	3277	25458	10833
CHINA	105 KG	699879	436535	1995984	1196811
TAIWAN	106 KG	1206	1405	13830	10309
THAILND	111 KG	167103	216856	342273	477265
SINGAPOR	112 KG	-	-	12067	11469
PHILPIN	117 KG	-	-	922	1129
DENMARK	204 KG	86232	61644	992664	658006
FRANCE	210 KG	332	1059	1944	4850
GERMANY	213 KG	-	-	3246	5074
SPAIN	218 KG	-	-	7808	10043
CANADA	302 KG	-	-	921	1421
USA	304 KG	1955992	1380593	6368620	4563071
MEXICO	305 KG	86485	66809	284345	187359
BRAZIL	410 KG	15573	5302	15573	5302
TOTAL	990 KG	3021288	2173480	10065655	7142942
(E. U)	991 KG	86564	62703	1005662	677973

1602. 50-100 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、

くず肉及び血(牛のもの)(腸、ぼうこう又は胃の全形のもの及び断片(単に水煮したもの))

SPAIN	218 KG	-	-	20711	12406
USA	304 KG	638641	309630	1200869	575184
CHILE	409 KG	1281	516	1281	516
AUSTRAL	601 KG	15389	5701	40242	13512
TOTAL	990 KG	655311	315847	1263103	601618
(E. U)	991 KG	-	-	20711	12406

1602. 50-291 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、

くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌)(単に水煮したもの)(気密容器入りのもの(野菜を含むもの)を除く。)

BRAZIL	410 KG	-	-	3394	3552
TOTAL	990 KG	-	-	3394	3552

1602. 50-320 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、

くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量の合計が全重量の30%未満のもの)(気密容器入りのもの(野菜を含むもの))(米を含むものを除く。)

MALYSIA	113 KG	-	-	259	342
TOTAL	990 KG	-	-	259	342

1602. 50-339 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、

くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 4月30日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A 36頭	高値	2,920	2,375	2,063	-	-
		安値	2,292	2,243	2,054	-	-
		平均	2,501	2,303	2,059	1,846	-
	雌 B 1頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	2,139	-	-	-
	去 A 44頭	高値	2,922	2,395	2,233	1,861	-
		安値	2,237	2,258	2,068	1,836	-
		平均	2,490	2,331	2,157	1,849	-
	去 B 1頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	1,243	-
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 8頭	平均	-	1,643	1,623	1,483	-
		頭数	-	2	3	3	-
	雌 C 2頭	平均	-	1,674	-	1,433	-
		頭数	-	1	-	1	-
去 B 18頭	平均	-	1,632	1,612	1,475	-	
	頭数	-	5	4	9	-	
去 C -頭	平均	-	-	-	-	-	
頭数	-	-	-	-	-	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	248 154	1,053 932	- 172.5	(競り)	(相対)	
				-	-	34

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌 A	高値	2,378	1,517	1,479	1,190	-
	安値	-	1,476	1,512	1,309	916
和 去 A	高値	2,402	2,273	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
乳 雌 B	高値	-	-	-	711	881
	安値	-	-	-	802	840
乳 去 B	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
交 雌 B	高値	-	1,626	1,585	1,239	-
	安値	-	-	-	1,321	-
交 去 B	高値	1,833	1,695	1,628	1,512	-
	安値	-	1,551	-	1,429	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	701	865	813	680	590
	安値	623	583	567	454	367
	平均	644	629	605	564	485
	頭数	(8)	(343)	(322)	(173)	(86)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 相対	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

[大阪食肉卸売市場] 4月30日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,472	2,387	2,121	-	-
(頭数)	(2)	(8)	(4)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(1)	(-)	(-)
和 去 A	2,479	2,334	2,053	-	-
(頭数)	(7)	(5)	(1)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,803	1,712	-	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	1,836	1,721	-	-
C	-	1,795	-	-	-
豚	-	681	689	452	477

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	4月30日	4月28日	(4月累計)
豚	69,500	69,900	1,334,500
成牛計	2,360	2,960	91,300
和牛雌	590	480	23,070
和牛去勢	450	680	23,730
乳牛雌	590	520	14,380
乳牛去勢	360	400	9,050
交雑雌	150	290	9,450
交雑去	210	570	11,560

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 4月30日

	1,559円	(前日 1,446円)
東京		
大阪	1,720円	(前日 1,672円)

[豚・全農建値] 4月30日

上	中	取引頭数	市況
623円	605円	1,264頭	弱もちあい

と畜 売買	牛 39頭	豚 132頭	牛概況	もちあい
	牛 44頭	豚 94頭	豚概況	急落

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 4月30日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	594 (594)	- (-)	-	-	もちあい
仙台 [中]	602 (592)	544 (522)	494	129	続伸
栃木 [地]	616 (602)	595 (589)	1,636	70	続伸
茨城 [地]	629 (630)	600 (604)	1,341	443	もちあい
群馬 [地]	627 (636)	552 (592)	2,369	253	小反落
さいたま [中]	600 (613)	591 (596)	249	263	下押し
東京 [中]	629 (634)	605 (606)	1,053	932	小反落
横浜 [中]	640 (631)	619 (600)	689	680	続伸
山梨 [地]	660 (667)	639 (658)	180	102	もちあい
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	731 (680)	717 (652)	999	174	続伸
京都 [中]	- (662)	- (640)	-	-	休市
大阪 [中]	681 (731)	689 (696)	132	68	急落
神戸 [中]	897 (-)	878 (-)	-	88	-
岡山 [地]	634 (634)	641 (645)	334	300	もちあい
広島 [中]	659 (623)	628 (593)	225	37	急騰
福岡 [中]	623 (633)	595 (599)	576	71	反落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。茨城、群馬の前日は29日。

[日本食肉流通センター] 4月23日～4月29日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,641,455 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,048	1,188	1,243	1,169	79,476
うで	756	810	832	808	126,331
ロース	1,017	1,148	1,210	1,128	154,478
ばら	1,142	1,193	1,253	1,201	151,329
もも	778	821	836	814	206,412
ヒレ	1,048	1,188	1,297	1,178	12,956
セット	922	1,054	1,078	1,022	910,473

◇近畿圏 総重量 753,518 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,134	1,242	1,346	1,241	62,476
うで	734	766	799	771	121,779
ロース	1,069	1,218	1,268	1,197	95,027
ばら	1,188	1,240	1,278	1,238	137,779
もも	734	768	837	777	174,681
ヒレ	1,159	1,295	1,407	1,269	12,932
セット	912	1,004	1,090	1,012	148,844

[食鳥正肉日経相場] 4月26日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (6社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	747	829	963	-
ムネ	418	463	562	-

◇大阪 (2社) ※休載

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	-	-	-	-
ムネ	-	-	-	-

[農水省統計情報部食鳥市況] 4月26日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,086	682	550	600	650
安値	750	396	290	360	350
平均	835	470	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します